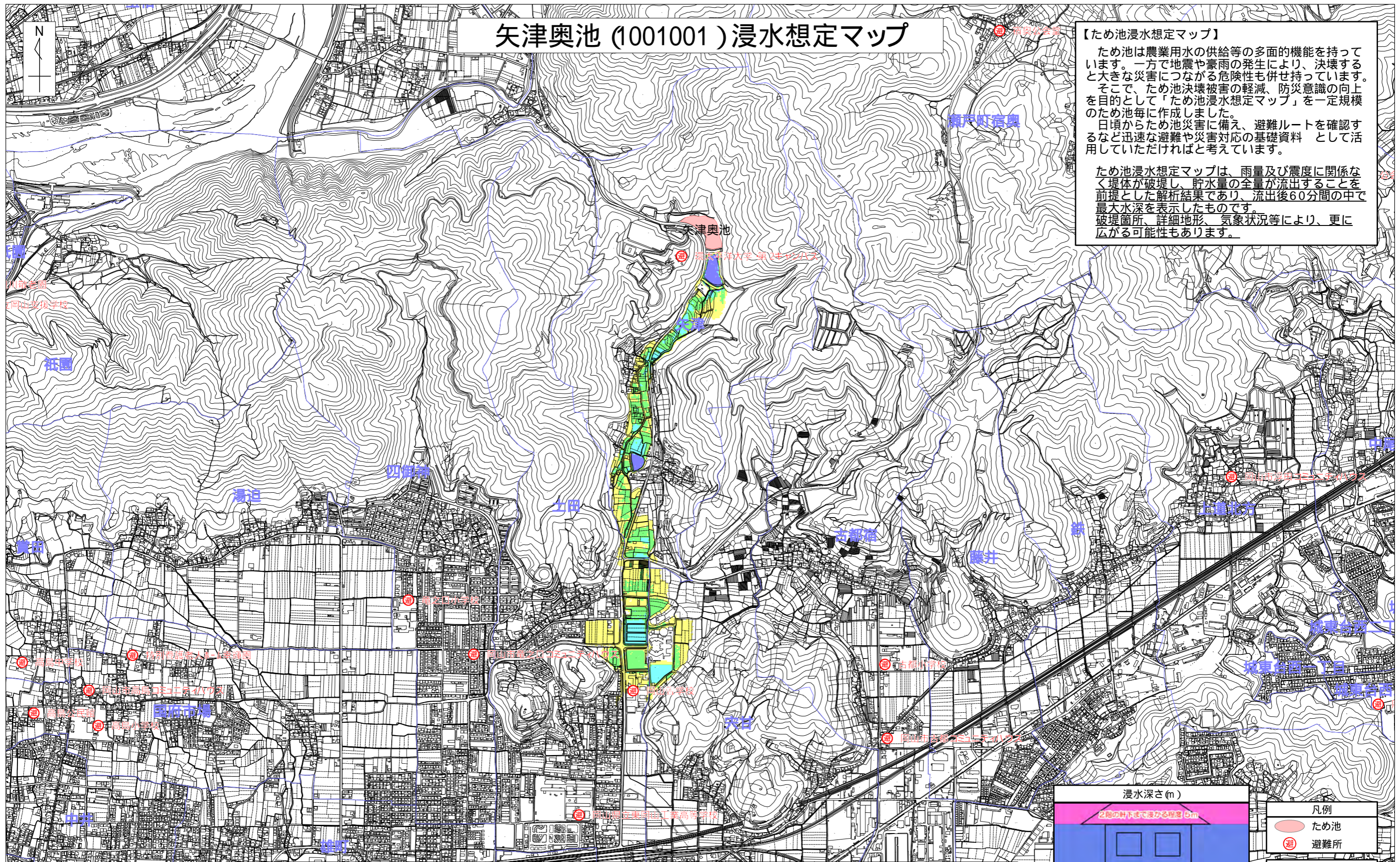


矢津奥池 (1001001) 浸水想定マップ

【ため池浸水想定マップ】
 ため池は農業用水の供給等の多面的機能を持っています。一方で地震や豪雨の発生により、決壊すると大きな災害につながる危険性も併せ持っています。そこで、ため池決壊被害の軽減、防災意識の向上を目的として「ため池浸水想定マップ」を一定規模のため池毎に作成しました。日頃からため池災害に備え、避難ルートを確認するなど迅速な避難や災害対応の基礎資料として活用していただければと考えています。

ため池浸水想定マップは、雨量及び震度に関係なく堤体が破堤し、貯水量の全量が流出することを前提とした解析結果であり、流出後60分間の中で最大水深を表示したものです。破堤箇所、詳細地形、気象状況等により、更に広がる可能性もあります。



ため池諸元
 名称 矢津奥池
 堤高 8.8m
 貯水量 58,080m³
 1:15000

特に注意すべきため池状況のポイント

【大雨時】
 急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
 漏水量が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
 堤体が陥没し、漏水が生じた場合

【地震時】
 堤体に陥没やひび割れが発生し、漏水量が急激に増えた場合や
 漏水に濁りが生じた場合

浸水深さ(m)

2階の軒下まで浸かる程度 0m

1階の天井まで浸かる程度 2m

おとなの膝あたりまで浸かる程度 0.5m

凡例

- ため池
- 避難所

最大水深

- 5.0m以上
- 2.0m～5.0m
- 1.0m～2.0m
- 0.5m～1.0m
- 0.5m未満